

くみあい

軽良培土床土用



いつもあなたへ
使いやすさを。

くみあい 軽良培土床土用

特長

- 水稻の中苗・成苗育苗に適した粉粒状の培土で、稚苗・中苗・高密度播種箱マットの床土として使用できます。
- 成苗ポットでは床土・覆土兼用で使用できます。
- pHを4.5～5.0に調整してあります。
- 軽量であるため、持ち運びが大変楽になっています。

肥料成分添加量(g)

肥料成分(約)	AN	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO
1kg当たり	0.5	0.7	0.5	0.1
1箱当たり (中苗マット)	1.0	1.4	1.0	0.2
1箱当たり (成苗ポット)	0.47	0.65	0.47	0.08

(2025年2月現在)

1袋からとれる箱数(目安)

育苗方式	箱数/20kg	箱数/500kg
中苗マット※1	約8.5箱	約212.5箱
成苗ポット※2	約18.5箱 (床土のみ)	約462.5箱 (床土のみ)
	約14.5箱 (床土・覆土)	約362.5箱 (床土・覆土)

※1かき取りブラシ深度は7mm、床土厚は23mmを推奨します。
※2押し込みローラー使用

中苗マットに使用する場合

床土詰め

箱の底に新聞紙を必ず敷いて下さい。
床土の厚さを23mmになるよう調整して下さい。

は種

消毒した催芽粉を均一には種して下さい。

かん水

ハウス内出芽の場合・・・**1枚当たり1.3L程度**
目安としては、かん水後底に敷いた新聞紙が十分に濡れる程度。かん水の過不足はかびの発生
や根上がりの原因になりますので十分注意して下さい。

覆土

粒状ふくど、軽良培土かけ土用またはpHを4.5
～5.0に調整した慣行土（苗代土、山土等）
を覆土し、箱面上部ですり切して下さい。

成苗ポットに使用する場合

土詰め

成苗ポットに培土をすり切りまで詰めます。

かき取り

かき取りブラシで深さ2mmとなるようかき取って下さい。

鎮圧

培土を十分な深さまで鎮圧します。9mm程度が
望ましい深さです。鎮圧が不十分であると培土が
浅くなり、根上りを起こす原因となります。

は種

消毒した催芽粉を1穴当たり2～4粒ずつは種し
て下さい。

覆土

粒状ふくど、軽良培土かけ土用またはpHを4.5
～5.0に調整した慣行土（苗代土、山土等）
を覆土し、箱面上部ですり切して下さい。

かん水

ハウス内に設置後、速やかに1箱当たり約1.2L
かん水し、時間を置いて1箱当たり0.6Lかん水
して下さい。

使用上の注意

- ◆ 健苗育苗および苗立枯病防除にタチガレン剤やタチガレエースM剤を使用し、防除基準に従ってカビを適正に防除して下さい。
- ◆ 置床に設置する際は、置床のpH矯正やタチガレエースM剤の施用を、成苗育苗の場合は置床施肥をお勧めします。
- ◆ 育苗中はかん水の過不足に注意し、適正に水を管理して下さい。成苗育苗の場合は乾きやすいので、かん水には十分注意して下さい。
- ◆ 雨や直射日光を避け、高温や低温を避けて保管して下さい。冬期凍結した場合は、ご使用前に早めに温かいハウス等に搬入し解凍してご使用下さい。

- ◆ 堆積による圧縮や固結が生じた場合は、ほぐしてからご使用下さい。
- ◆ 開封後は全量使い切して下さい。使い残しの培土の品質を保証できません。
- ◆ 一度使用した培土は、培土の化学性および物理性が変わりますので、繰り返し育苗にご使用にならないで下さい。
- ◆ 使用法および使用上の注意に従ってご使用下さい。
- ◆ 育苗中の病害虫防除については、慣行に従って防除して下さい。

マット育苗での注意事項

- ◆ 箱マットの覆土には絶対に使用しないで下さい。

ポット育苗での注意事項

- ◆ 置床から養分を吸収しますので、置床のpHの矯正、施肥、タチガレエースM剤などの施用が必要です。
- ◆ 成苗ポットは乾きやすいので、かん水には十分注意して下さい。
- ◆ 成苗ポットの床土と覆土に兼用で使用する場合は、覆土の持ち上がりに注意し、持ち上がった場合には覆土を落として下さい（苗焼けの原因になります）。

詳しい使い方については地区農業技術指導機関またはJAにご相談ください。

ホクサン製品情報はコチラ！



ホクレン



ホクサン株式会社

技術普及課 / 北広島市北の里27番地4 TEL : 011-370-2280

